

完全ワイヤレスイヤホン

GRAMO-SWE01P

取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。ご使用になる前に取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

- 本製品を室内でご使用になる場合：
接続したスマートフォン等の Bluetooth 機器は最大半径 10 メートル以内に置いてご使用ください。
- 屋外にてご使用する場合：
Bluetoothの機能は信号のある交差点、大型駅構内、電車の高架線付近など、電波の状況によって途切れたり繋がらない場合があります。

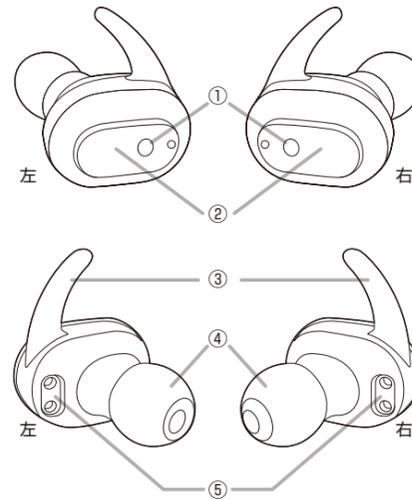
■パッケージ内容

以下の内容物が同梱されていることをご確認ください。

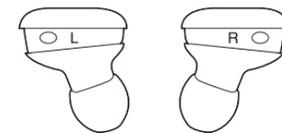
- ①イヤホン本体 (左×1, 右×1)
- ②充電ケース×1
- ③イヤークリップ (S/M/Lサイズ)
※Mサイズはイヤホンに装着されています。
- ④イヤークリップ (M/Lサイズ)
※Mサイズはイヤホンに装着されています。
- ⑤充電用 USB ケーブル×1
- ⑥収納ポーチ×1
- ⑦取扱説明書 (本紙・保証書内容記載)×1

■各部名称

●イヤホン本体

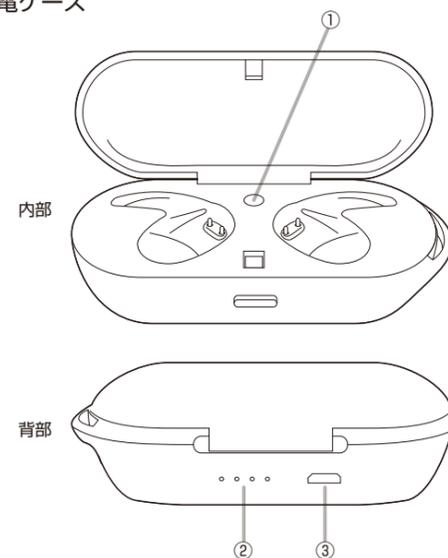


- ① LED ランプ
- ② タッチボタン
- ③ イヤークリップ
- ④ イヤークリップ
- ⑤ 充電端子



イヤークリップを外すと
L(左)/R(右)が表記されています。

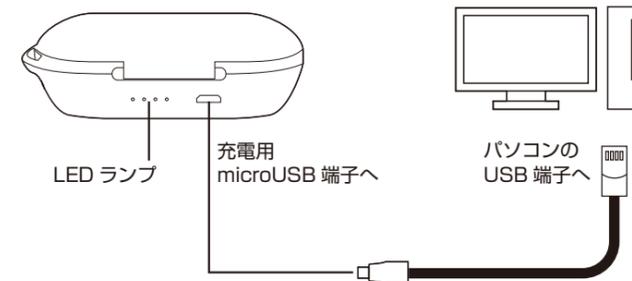
●充電ケース



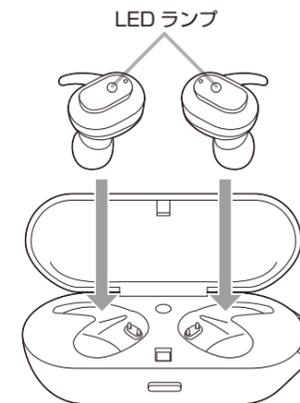
- ①充電ボタン：
充電ボタンを押し、イヤホンに充電させます。ランプが消灯するまで押しと充電を強制的に終了させます。
- ②充電残量 LED：
4つあり、一つのランプは約 25%のバッテリーを表示します。充電ケースに充電する、またはイヤホンが充電ケースに設置されている時、充電残量 LED が点灯して電池残量を表示します。
- ③充電用 MicroUSB 端子：
付属の USB ケーブルで、パソコンの USB 端子または USB 変換 AC アダプターと接続して充電します。

■充電方法

- 初めてご使用になる前にイヤホンと充電ケースを 100%まで完全充電してください。
- 充電ケースの充電：
①付属の USB ケーブルに繋いで充電します。充電中、充電残量 LED が点灯して電池残量を表示します。
②LED が4つ全て点灯したら充電完了です。



- イヤホンの充電：
①本製品はマグネット接触充電方式です。イヤホンと充電ケースに収納して充電を行います。
②充電ケースにイヤホン本体を収納すると LED ランプが赤色に点灯して自動的に充電を開始します。
③満充電になると LED ランプが青色に点灯します。

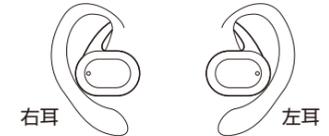
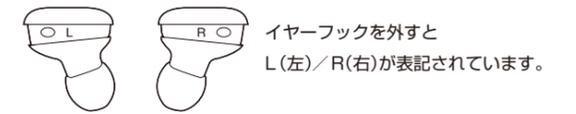


■主な仕様動作

	タッチボタン	LED ランプ	音声アナウンス
電源 ON	電源 ON の状態で 4~5 秒程度長押し	消灯→青色に点滅	パワーオン (power on)
電源 OFF	電源 ON の状態で約 5~6 秒程度長押し	赤色に点滅→消灯	パワーオフ (power off)
充電中		赤色に点灯	
充電完了		青色に点灯	
バッテリー容量不足		イヤホン から効果音が鳴ります	バッテリーイゾウ (battery is low)
ペアリングモード	電源 OFF の状態で 8~9 秒程度長押し	赤色と青色が交互に点滅	ペアリング (pairing)
ペアリング完了		青色がゆっくり点滅	ペアリングサクセスフル (pairing successful)⇒コネクテッド (connected)

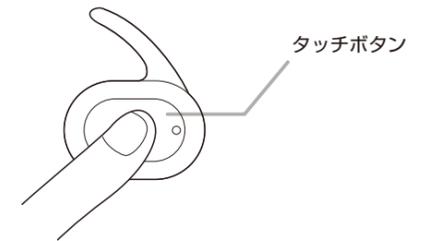
■装着方法

- ①左 "L"、右 "R" をご確認ください。
- ②下図のようにイヤホンとイヤークリップを耳へ装着します。両耳に合わせてお好みの角度へ調節して落ちにくいことをご確認ください。頭を軽く振り回したりしてイヤホンが落ちないことをご確認ください。
- ③イヤークリップ (S/M/L) サイズとイヤークリップ (M/L) の違うサイズを用意しておりますので、ご自由にお選びください。



■タッチボタンについて

本製品はタッチボタンを押すことで電源オン/オフやペアリング等の操作を行うことができます。
タッチボタンは押し込まなくても、指で触れれば動作します。
初めてご使用になる際、タッチの力加減により一気に数回タッチしてしまったり、未反応の場合があります。
片方のイヤホンに耳につけ、もう一つを手にしてタッチの力加減をお試しください。
※ご使用中にタッチボタン部分は塞がないでください。音が途切れたり、繋がりを悪くする原因となります。



■電源の入/切

- 電源 ON の方法
タッチボタンを長押しし、イヤホンから "パワーオン (power on)" の音声アナウンスが聞こえるまで長押しします。
"パワーオン" の音声聞こえたらタッチボタンから指を離します。
※タッチボタンは押し込まなくても、指で触れるだけで作動します。
- 電源 OFF の方法
タッチボタンを、イヤホンから "パワーオフ (power off)" の音声アナウンスが聞こえるまで長押しします。
"パワーオフ" の音声聞こえたらタッチボタンから指を離します。

■ペアリング手順

Bluetooth は機器同士が1対1で接続されます。Bluetooth 機器ではあらかじめ接続する機器を登録する必要があります。この行為をペアリングといいます。

●イヤホン同士のペアリング

初めてお使いになる前に、左右のイヤホンをペアリング接続します。

左右のペアリングをする前に、スマートフォンの Bluetooth をオフにしてください。

Bluetooth をオンにすると、スマートフォンに二つのイヤホン名が検出される場合があります。

その際、二つのイヤホン名はクリックしないでください。

①左右両方のタッチボタンを、イヤホンから“パワーオン (power on)”の音声アナウンスが聞こえるまで同時に長押しします。“パワーオン”の音声聞こえたらタッチボタンから指を離します。

②“コネクテッド (connected)”の音声アナウンスが聞こえたらイヤホン同士の接続完了です。

接続完了後、間もなく左イヤホンから“レフトチャンネル (left channel)”右イヤホンから“ライトチャンネル (right channel)”の音声アナウンスが流れます。

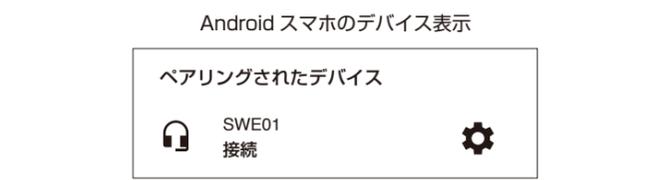
●スマートフォンとの接続

① 左右のイヤホンのペアリング後、間もなく“ペアリング (pairing)”の音声アナウンスが左イヤホンから流れます。スマートフォンの Bluetooth をオンにします。

②Bluetooth をオンにして約 10 ～ 15 秒後（機種により差が異なります）、本製品の品番『SWE01』が表示されますので『SWE01』を選択します。

※スマートフォンの機種によってパスワードが必要です。

パスワードは「0000」です。



※機種により画面表示が異なる場合があります。

③左イヤホンから音声アナウンスが“ペアリング サクセスフル (pairing successful)”⇒“コネクテッド (connected)”の順に流れてペアリング完了です。本体 LED は青色でゆっくり点滅します。

※iPhone(iOS) ならバッテリー残量が

ステータスバー表示されます。



●自動接続

ペアリング済みの左右イヤホンは、次回から自動的にペアリングします。

ペアリング済みのイヤホンとスマートフォンは、次回から自動的にペアリングします。

①左右両方のタッチボタンを同時にイヤホンから“パワーオン (power on)”の音声アナウンスが聞こえるまで長押しします。

②“パワーオン”の音声聞こえたらタッチボタンから指を離します。自動的に左右イヤホン接続⇒本体ペアリングの順に接続していきます。

※左右ペアリングがされていない場合、スマートフォンで“SWE01”が検出できません。

■片耳（左耳のみ）でのご使用

※本製品は左イヤホンのみ、片耳でのご使用が出来ます。

左のみの初回ペアリングをする前に、スマートフォンの Bluetooth をオンにしてください。

①左イヤホンのタッチボタンをイヤホンから“パワーオン (power on)”⇒“ペアリング (pairing)”の音声アナウンスが聞こえるまで長押しします。“ペアリング”の音声聞こえたらタッチボタンから指を離します。

②約 10 ～ 15 秒後（機種により異なります）、本製品の品番『SWE01』が表示されますので『SWE01』を選択します。

※スマートフォンの機種によってパスワードが必要です。

パスワードは「0000」です。

③音声アナウンスが“ペアリング サクセスフル (pairing successful)”⇒“コネクテッド (connected)”の順に流れてペアリング完了です。

本体 LED は青色でゆっくり点滅します。

④ペアリング済みのイヤホンとスマートフォンは、次回から自動的にペアリングします。両耳でのご使用と同様にタッチボタンをイヤホンから“パワーオン (power on)”の音声アナウンスが聞こえるまで長押しします。“パワーオン”の音声聞こえたらタッチボタンから指を離します。

※ご注意

・接続が切れると“ディスコネクティド (disconnected)”の音声アナウンスが流れます。

・片耳で使用する場合、約 10 秒ごとにピープ音（効果音）が鳴ったり、ノイズが流れる場合があります。その場合は約 2 分ほど間隔を置いてから再度ペアリングしてください。

・Bluetooth対応の全ての機器との接続動作を保証したものではありません。また接続する機種やバージョンによっては正しく操作、機能しない場合があります。

・スマートフォンの使用方法については、弊社ではサポートしておりません。本製品に接続するスマートフォンの取り扱いについてはスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

・別の Bluetooth 機器を登録しますと、登録済みの古い機器に新しい機器の登録が上書きされます。また同じ機器の場合、何度登録しても1台としてカウントされます。

・すでに登録済みの機器と Bluetooth 通信を行っている場合、本操作はできません。通信を終了して本機の電源を切ってください。

■音楽再生の操作方法

本体イヤホンのタッチボタンを押して操作できます。

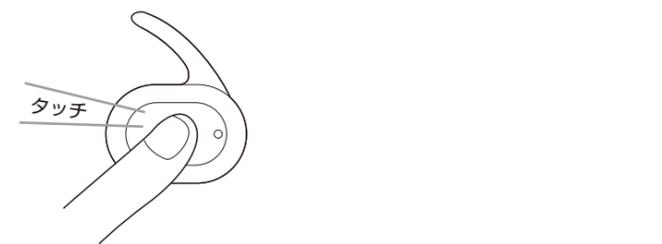
左右どちらのイヤホンのタッチボタンでも操作できます。

再生／一時停止：タッチボタンを押します。

曲送り：タッチボタンを約2秒長押しします。

※曲戻し、音量調整機能はありません。

接続したスマホ本体にて行なってください。



■ハンズフリー通話の操作方法

着信音及び通話音声操作は安全上、左耳イヤホンのみで行います。

右耳イヤホンから着信音及び通話音声は出ません。

電話発信：スマートフォン側で電話をかけます。

発信後、出力先を Bluetooth へ切り替えます。

電話着信：イヤホンから着信音聞こえたら、左耳のタッチボタンを押して通話出来ます。

※通話中、音楽再生は中断します。通話が終わると音楽再生が再開されます。

■故障かな？と思ったら

●本製品の電源が入らない
⇒本製品を充電してからお試しください。

●Bluetooth 機器とペアリング（登録）できない
⇒Bluetooth 機器側の機能が使用可能な状態であることを確認してください。
⇒接続する Bluetooth 機器と本製品をなるべく近づけて登録してください。
⇒ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合があります。再度設定しなおしてください。

⇒近くに別の Bluetooth 機器がある時は、別の Bluetooth 機器の電源を切るか、その機器から離れた場所登録してください。

⇒ご使用のBluetooth機器が本製品のプロファイルに対応しているかご確認ください。

※対応プロファイル：A2DP, HFP, HSP, AVRCP

●Bluetooth 接続、ペアリングが突然できなくなった

⇒本製品と接続している機器の電源を両方とも切り、機器情報（デバイス登録）を削除してから再度 Bluetooth やペアリングを行ってください。

●発信時にイヤホンが使えない
⇒携帯電話から発信した後に、スピーカーマイクを本体から Bluetooth イヤホンへ切り替え操作が必要です。

操作方法は、携帯電話の説明書をお読みください。

●着信時にタッチボタンを押しても通話できない

⇒着信時に電話を受ける機能は左イヤホンのタッチボタンです。

右イヤホンのタッチボタンで電話受信できません。

⇒右の携帯電話では、着信時に本製品のタッチボタンを数回押さないと言話を開始できない場合があります。

⇒携帯電話側で「ハンズフリー」や「ヘッドセット」のいずれかで接続するように選択肢が表示された場合は、「ハンズフリー」で接続をしなければ、タッチボタンを押しても着信が取れない場合があります。

●通話できない

⇒接続する Bluetooth 機器と本製品の電源を入れてください。

⇒再度ペアリング（登録）をしてください。

⇒Bluetooth 機器と本製品の音量を調節してください。

●着信前に留守番転送されてしまう

⇒着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると本製品に音声転送される前に留守番転送されてしまう場合があります。

●音が途切れる、または音質が悪い

⇒接続する Bluetooth 機器と本製品を近づけて使用してください。

⇒接続するBluetooth機器と本製品の間にある障害物を取り除いて使用してください。
⇒他の無線機器、電子レンジなどの電波干渉機器が近くにある場合があります。干渉元と思われる機器から離れて使用してください。

●音楽が再生できない

⇒接続する Bluetooth 機器と本製品の電源を入れてください。

⇒再度ペアリング（登録）をしてください。

⇒Bluetooth 機器と本製品の音量を大きくして調節してください。

⇒Bluetooth 機器側で音楽再生ができるかご確認ください。

⇒ファイルや Web サイトによって Bluetooth での再生をサポートしていない場合があります。

⇒スマートフォンの仕様により、ダウンロードした動画等の音声は Bluetooth では視聴出来ない場合があります。

■製品仕様

●Bluetooth 仕様：Bluetooth ver.4.1

●対応プロファイル：A2DP, HFP,HSP,AVRCP ●対応コーデック：SBC

●保護等級：防水規格 IPX5

※IPX5：防水性能の等級。JIS 保護等級（日本工業規格で定められた電気機械器具の外郭による保護等級）の1つで、IPX5 は「あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない（防噴流形）」ことを意味します。あらゆる方向からの直接の噴流に対して保護されていますが、強力なジェット噴流や、水中に沈められた時には、故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。

●イヤホン本体重量（片耳）：約 5.3g

●イヤホン本体バッテリー量（片耳）：50mAh ●感度：105dB ●受信距離：10m

●使用周波数帯域：2.4GHz 帯（2.4～2.480GHz） ●送信出力：Class2（4dbm）

●ドライバー：Φ8.0mm ●充電ケースサイズ：92×40×31mm

●充電ケース内蔵バッテリー：リチウムポリマー 450mAh ●充電電圧：DC5V

●充電時間：充電ケース：約1～1.5時間

本体イヤホン（充電ケースでの充電）：約約1～1.5時間

※充電ケースが満充電の状態ですら最大3回まで充電可能

●連続再生時間：約2～3時間 ●連続通話時間：約2～3時間

●連続待機時間：最大6時間

※使用時間は70% 音量の条件にて算出

※通信する Bluetooth 機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために待機 / 通話 / 再生時間が短くなる場合があります。

※本製品に関して、すべての Bluetooth 機器の動作を保証するものではありません。

■安全上のご注意

●商品保証やお問い合わせは日本国内に限ります。国外での不具合や費用については保証致しかねます。
購入店の捺印・購入日記載がされた本書内記載の保証書が必要になりますので大切に保管ください。
●本製品およびパソコン等、接続機の不具合からデータの破損・消失した場合は、弊社ではデータ内容の保証を致しかねます。必ず内蔵メモリに保存されたデータを他の記録媒体に保存してください。
●お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、その他不具合を含め、本製品の仕様によって受けられた損害については法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責を負いません。
●当社が関与しない各種機器との組み合わせによる誤作動から生じた損害に関しまして、当社は一切その責を負いません。
●本製品は取出不可の内蔵リチウムバッテリーへの本体充電式です。電池交換はできませんので、予めご了承ください。本製品が不要になった場合はお近くの電気店にご相談の上、リサイクルもしくは廃棄をお願いします。
●誤った使用方法で生じる人的被害や火災などの財産への障害を防止するため、「注意事項」を必ずお守りください。

⚠ 注意事項

●高温になる場所に放置しないでください。直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、破裂・火災・感電等の原因となるだけでなく、部品の劣化や破損の原因となります。
●修理・改造・分解を絶対しないでください。火災・感電の原因になるだけでなく、お子様の部品誤飲の危険があります。
●釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつける等の外的圧力をかけたり、くらくく台の上や傾いた所などの不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本製品の落下や外的圧力で、けがや故障・破裂・火災・感電等の原因となります。
●異常が起きたら、パソコンまたは USB ケーブルから本製品を取り外して使用を中止してください。煙が出たり異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●本取扱説明書の記載をお守り頂けない場合による損害や事故に関しまして、当社は一切その責を負いません。

無線電波について

●本製品の仕様周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに電波の発射を停止してください。
●他の Bluetooth 機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体（接触した状態）などを挟むと、雑音が入ったり通信不能な場合があります。
●Bluetooth 機器接続において、無線 LAN その他の無線機器の周囲、電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。

●無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。